

S. K. RAMESH, Ph.D.

2020 IEEE President-Elect 候補

www.rameshsk.com



IEEEは、優秀さと同義の世界最大の技術専門家集団です。IEEE 会員は、個々の貢献を通じて、学会にとって計り知れない価値を作り出しています。どうすれば、これまでの優秀さの伝統の上に、学会とその会員のための価値を高めることができるのでしょうか？ どうすれば、現場技術者、若手の専門家や起業家の最近の、そして未来の期待に応えることができるのでしょうか？ どうすれば、変化の激しい時代に、引き続き必要とされるのでしょうか？ 私の目標は、IEEE を卓越した 21 世紀の会員組織とするように、会員と共に力を尽くしていくことです。(私の意見表明書をご覧ください)

主たる活動

- IEEE Board of Directors, '16-17
- Vice President IEEE Educational Activities, '16-17
- President, IEEE-HKN#, '16
- IEEE Awards Board, '10-13,
- IEEE Fellows Committee, '18
- IEEE Strategic Planning Committee, '16-18
- ABET* Board of Directors, '13-14
- ABET* Board of Delegates, '15-21
- #Eta Kappa Nu
- *Accreditation Board for Engineering and Technology

重要な業績

- IEEE 教育関連活動の再構築を VP (Vice President)として主導、生涯教育に関連する商品とサービスに即時効果
- IEEE Learning Network (ILN) premiering in '19, 同点優勝 Try Engineering Summer Camps program, 優勝
- 'Try Engineering Together', e-mentoring program, 優勝
- IEEE-HKN (Eta Kappa Nu)を、米国内から IEEE の全世界 10 地域に展開
- IEEE program である EPICS (Engineering Projects in Community Service)を、バドュー大学との MOU (memorandum of understanding)で強化
- EPICS (pilot program) を IEEE India で開始

私の立候補請願への署名はこちらからお願いします。

<http://www.ieee.org/petition>

質問、アイデア、提案などがあれば、遠慮なくメールして下さい。

Email: s.ramesh@ieee.org

URL: www.rameshsk.com

私は、次のことに取り組んでいきます:

- 協働、透明性、ダイバーシティ、平等、そして参加の文化を広め、居住地や職業の異なるすべての会員の役に立つことによって、全世界レベルで IEEE を振興させる。
- 会員が技術の進歩に遅れないようにするために、関連分野の生涯教育プログラムとサービス、産業界向けワークショップや会議への容易なアクセスを提供する。
- すべての会員のために、標準、会議、教育、出版の価値を増大する。
- 会員を活動に参加させ、現在の職業上の、またキャリア全体にわたるニーズに答える。
- 世界中に広がる会員が、協働し、最先端の技術コミュニティを作り上げ、障壁を取り除き、イノベーションを促進し、IEEE を明るい未来のために強化発展させる戦略的なパートナーシップを育むようにする。
- IEEE が将来の技術動向とイノベーションの最先端に常にあるように、会員を活性化し、閃きを与え、積極的に行動させる。

堅実な財務リーダーシップを提供し、オーバーヘッドを小さくし、効率を高めるために、測定可能な指標で表された明確な戦略目標をもって IEEE のボードをリードし、会費やボランティアの労力が戦略的優先度と効果的に一致することを確実にする。

技術は常に変化します。挑戦は進化します。会員の経験は、昔のままではありません。会員の期待に効果的に答えるために、我々は適応し、変わらなければなりません。会員、学会、及び一般の人々に奉仕する世界各地からの多様で包括的なボランティアとスタッフのチームは、過去 37 年の自分自身の経験を強化してくれました。その過程で学んだ価値のおかげで、今日まで私は、任務を意識し、倫理的かつ平等で、協働的で、説明責任を有し、勇気と柔軟性に溢れ、サービス思考で、包括的であることができました。今後も引き続き、多くの人々を支え、また受け入れる環境を作り出し、すべての会員が IEEE 活動に参加し、IEEE に貢献するように、積極的に働きかけていきます。私は、共有する未来と IEEE に今後訪れる機会に、ワクワクしています。このビジョンを実現し、IEEE を卓越した 21 世紀の会員組織としていく過程で、IEEE 及びその会員のために尽くすことは、名誉で特別なことです。ご署名とご支持に、心よりお礼申し上げます！

略歴

S. K. Ramesh (ラメシュ) は、37 年に渡ってアクティブな IEEE ボランティアで、学会全体にまたがる複数のリーダー的役割に就いてきた。現在、カリフォルニア州立大学ノースリッジ校教授、かつ米・教育省が支援する AIMS のプログラムディレクター。協働プログラム AIMS は、工学やコンピュータ科学における少数派の人々に助言を与え、支援し、彼らの卒業を増やすための活動として、国内外で知られている。ラメシュ博士は、カリフォルニア州立大学の最大キャンパスのうちの二か所で 32 年間、学部長、学科長、教員として勤務し、際立った業績を残してきた。ラメシュ博士は、技術的には光ファイバー通信に興味を持っており、2015 年に IEEE Fellow に昇格した。彼はまた、工学教育において様々な方法を初めてトライしたことで知られている。